

事業番号	2	事業名等	パワーアップ商業振興事業(空き店舗対策)
仕分け結果	①廃止		担当課 産業支援課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
①廃止	13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者の自己努力と自己負担で対応すべき。 ・ 家主と地権者だけを助けている。(保護しすぎ) ・ 観光資源を活かして、整備することを考える必要があると思う。 ・ 根本的に中心市街地に定住してもらえるような仕組みが必要と思う。 ・ 単なる補助は、効果がない。 ・ 市が行なう事業とは思わない。 ・ 事業は経営者の責任で行えばよく、税金を投入する必要はない。 ・ 県が廃止した事業を、市単独で継続しても期待できないと思う。 ・ 中心市街地だけを商店として考える必要はない。 ・ 今後のビジョンがはっきりしない。市は、整備すべき部分が他にあるはず。 ・ このようなソフト事業に行政が関与する必要はない。 ・ 施策の達成手段として不適當である。
②民間が実施	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政が関わることで、ビジネスの柔軟性が損なわれる可能性がある。 ・ 行政は、ハード面に対応すべき。 ・ 活性化については、民間の方が良い策を考えると思う。 ・ 商店街の賑わいを取り戻すために、市民ニーズを調査すべき。 ・ 商店街や各店舗でアイデアを出し、考えればよい。
③国・県・広域行政が実施	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域行政で対応すべきと思う。
④市が実施(要改善)	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場関係等のインフラ整備を行なうことが先決ではないか。 ・ 新たな考え方をする時期に来ていると思う。 ・ 補助する店舗が出店することで、どれだけ周辺が活性化するかを考えるべき。 ・ 事業内容を見直して、終期を設定すべき。 ・ 市民参画や協働を推進していくべき。 ・ 起業を図る施策が必要。
⑤市が実施(現行どおり)	0	
⑥市が実施(拡大・充実)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ さらに充実をし、商店街ごとに特色ある街づくりをめざすべき。

※ 市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。